

しましま 那覇・浦添



情報提供 MAIL

那覇 098-8... 浦添 098-8...

歩道で倒れた男性救助



消防局からの感謝状を手に「無事助かって良かった」と笑顔を見せる喜屋武尚さん(左)、橋川喜光さん(右)25日、那覇市銘苅の市消防局

喜屋武・橋川さんら連携

【那覇】那覇市消防局(比嘉義樹局長)は25日、歩行中に突然倒れ、心肺停止に陥った50代男性に自動体外式除細動器(AED)を使うなどして命を救った功績をたたえ、喜屋武尚さん(57)と、橋川喜光さん(69)いづれも那覇市に感謝状を贈った。医療器具販売の経験がある喜屋武さんは「AEDの使い方は知っていた。無我夢中だった。橋川さんは「救助された男性が」無事に職場復帰できてうれしい」と話した。4月12日午後5時ごろ、市泉崎の歩道を喜屋武さんが仕事帰りに歩いていると、背後で歩行中の男性が急に倒れたのに気付いた。喜屋武さんはすぐ近くで橋川さんが

那覇市消防局が感謝状

経営する自転車店に駆け込み119番通報と、コンビニからAEDを取ってくるよう伝えた。その間、倒れた男性の心臓マッサージを繰り返した。通りかかった看護師の女性も救助に加わり、3人で交代しながら心臓マッサージとAED処置を続け、到着した救急隊に引き継いだ。消防局によると、倒れた男性は病院到着時に心停止状態から回復し、療養を経て社会復帰したという。男性は狭心症の疑いがあった。心肺蘇生処置は停止直後の数分間が成否を分けるとされる。消防局の比嘉局長は「一生に一度あるかないかの現場での確な行動」とたたえた。今回、救助に加わった女性看護師は所在がつかめず、感謝状を渡せなかった。同局は判明次第、贈呈したいとしている。(社会部・城間陽介)